

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
財政学				三好 ゆう	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	2年次	講義	無	科目等履修
授業の概要(Course Description)					
<p>産業活動や国民生活に対し、財政は重要な影響をもたらす。あらゆる部面で複雑にかかわっているため、現代財政の制度を理解することは大変難しいものとなっている。本講義では、財政の全体像を見据えながら、現代財政のしくみや理論について各個別分野でそれぞれ丁寧に見ていく。</p> <p>講義は大きく4つに分かれる。第1部「現代財政の全体像」では基礎理論とともに現代財政の構造について、第2部「租税の基礎理論と政策」では一般財政の収入源である租税について、第3部「財政赤字と公債」では公債の制度や理論、歴史について、第4部「財政の役割と課題」では主要経費について総合的に解説する。</p> <p>日本の財政制度を中心に講義を進めていく。私たちの生活にどれほど密接に関わってきているのかを実感してもらえよう、分かりやすい説明を行う。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>本講義の目的は、現代財政の基礎的知識やしくみを把握し、自身の日常生活と財政との関わり合いを理解することにある。そのうえで、以下の2点を最終到達目標とする。</p> <p>(1) 日本の財政のしくみについて、自分の言葉で論理的に客観的な説明ができるようになること</p> <p>(2) 日常生活における財政の役割を理解すること</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第1回	第1部「現代財政の全体像」	大きな政府と財政機能			
第2回	〃	予算原則と財政民主主義			
第3回	〃	日本の財政システム			
第4回	第2部「租税の理論と政策」	租税の基礎理論			
第5回	〃	所得税のしくみと理論			
第6回	〃	法人税のしくみと理論			
第7回	〃	付加価値税の理論			
第8回	〃	シャウプ勧告と租税体系			
第9回	〃	税制改革の動向			
第10回	第3部「財政赤字と公債」	公債の制度と日本の公債問題			
第11回	第4部「財政の役割と課題」	社会保障と財政構造			
第12回	〃	国防・ODAの財政			
第13回	〃	環境問題と財政			
第14回	〃	災害対策と財政			
第15回	総まとめ 財政の自立と連帯				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>①テキストを活用し、次回講義内容の確認をしておくこと。分からない用語・単語等は事前に調べておくか、チェックをしておくこと。</p> <p>②毎講義の復習は、レジユメの他、参考書等を活用し、理解を深めておくこと。</p> <p>③ニュースや新聞に絶えず目をむけておくこと。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
期末試験 (100%)	秀：必要なキーワードを過不足なく用いて、論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘できている 優：キーワードを用いながら論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を理解している 良：おおよその説明はできており、かつ、問題点を理解している 可：しくみや問題点の説明において、最低限の水準を満たしている 不可：しくみや問題点が説明できていない
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 ※講義は、主として、レジュメを中心に行う。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	内山昭編（2014）『財政とは何か』税務経理協会
備考 (Other Information)	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	週2コマをオフィスアワーとする（事前連絡は不要） 具体的な曜日・時限については、オフィス前に掲示しておく